

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進 責任者	建設部長・企画調整室長・総務部長・港営部長
施策	3 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者など名古屋港に集うあらゆる人びと	意図(どういう状態にしたいのか)	集客施設の開発や運河の再生、イベント開催等により港湾空間の更なるにぎわいや魅力を創出し、ときめきやすさを感じ、親しまれ、みんなの夢がふくらむ港	
	サービスの対象物(何を)	親しまれる施設(集客施設・運河など)やイベントなど			
展開①	うるおい、憩い、にぎわいのある運河の再生	展開②	民間活力による再開発や既存施設の有効活用によるにぎわい創出	展開③	クルーズ船誘致、イベント、景観づくりによる港の魅力や親しみの向上
	中川運河では、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導や、緑地・プロムナードの設置、水循環の推進による水質の改善を進めるとともに、水上交通の誘導に向けた体験乗船など、地域住民や企業等との連携を図りながら、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河への再生を図ります。		名古屋港のふれあい・交流拠点であるガーデンふ頭、金城ふ頭において、民間活力を活用し、新たなにぎわい施設の誘導を進めています。また、水族館などの既存施設についても、集客向上の取組や各施設の連携を図り、本港のにぎわい創出に取り組みます。		国内外クルーズ船社、船舶・旅行代理店への誘致活動によるクルーズ船誘致や練習帆船・汽船等の誘致・一般公開を実施するとともに、みなと祭などのイベント開催、歴史的港湾施設の保存や景観づくりにより、港の魅力や親しみの向上に取り組みます。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	27年度		28年度		29年度		目標値	29年度の 状況	29年度実施事業に基づく評価結果	
			上段: 指標 目標値	実績値	上段: 指標 目標値	実績値	上段: 指標 目標値	実績値			30年度以降の方向性	事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
											成果	コスト

【展開①】うるおい、憩い、にぎわいのある運河の再生

施03 事101	中川運河緑地(堀止地区)整備事業(事業推進課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	68.0%	76.9%	78.0%	80.5%(累計)	順調	継続	維持	維持	・中川運河(堀止地区)について、入札不調により通路舗装の整備に至らず、平成30年度に確実に通路舗装を行う必要があるため。
			63.8%	73.8%	73.8%						
			65,906千円	128,359千円	4,319千円	30年度					
施03 事102	中川運河水質改善事業(事業推進課)	事業の進捗状況(全7工程)【進行管理型】	2工程	3工程	4工程	5工程(累計)	順調	延伸	維持	維持	・実施設計の結果により事業全体の工程を見直し、施工時期を延伸する必要があるため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(31-34年度)
			2工程	3工程	4工程						
			38,860千円	94,498千円	16,581千円	30年度					
施03 事103	中川運河再生計画の推進(金城・中川・南5区担当)	計画における施策を実施した数(全5施策)【進行管理型】	3施策	4施策	4施策	5施策(累計)	順調	継続	維持	維持	・引き続き、関係機関と連携して中川運河再生計画の施策を推進していく必要があるため。
			3施策	4施策	4施策						
			6,621千円	6,583千円	20,757千円	30年度					

【展開②】民間活力による再開発や既存施設の有効活用によるにぎわい創出

施03 事201	ガーデンふ頭再開発の推進(総合開発課)	ガーデンふ頭におけるにぎわいの創出に向けた検討の進捗状況(全5工程)【進行管理型】	1工程	3工程	4工程	5工程(累計)	順調	継続	拡大	維持	・平成29年度に策定したガーデンふ頭再開発基本計画や、同計画に基づき実施したマーケットサウンディングの結果を踏まえ、再開発の進め方を具体的に検討していく必要があるため。 【重点化】
			1工程	3工程	4工程						
			24,616千円	38,408千円	44,313千円	30年度完了					
施03 事202	金城ふ頭開発事業の推進(金城・中川・南5区担当)	民間施設の開発誘導までの進捗状況(全5工程)【進行管理型】	4工程	5工程	5工程	5工程(累計)					
			4工程	5工程	5工程						
			17,838千円	20,606千円		28年度完了					
施03 事203	名古屋港水族館の振興(関連事業担当)	入館者数【単年度管理型】	210万人	210万人	221万人	221万人	目標値を上回る	継続	維持	維持	・ガーデンふ頭における親しまれる諸施設の中核施設として、引き続き更なる集客に努める必要があるため。
			205万人	197万人	222万人						
			264,759千円	351,190千円	1,101,268千円						
施03 事204	魚釣り施設のあり方検討(企画担当)	検討の進捗状況(全5工程)【進行管理型】	3工程	5工程	5工程	5工程(累計)					
			3工程	5工程	5工程						
			11,603千円	6,719千円		28年度完了					
施03 事205	金城ふ頭における円滑な交流拠点開発の推進(金城・中川・南5区担当)	港湾関係者との調整【単年度管理型】	-	-	12回	12回	目標値どおり	継続	維持	維持	・今後も金城ふ頭において物流機能との共存を図りながら、円滑な交流拠点開発の推進に取り組む必要があるため。
			-	-	12回						
			-	-	18,380千円						

【展開③】クルーズ船誘致、イベント、景観づくりによる港の魅力や親しみの向上

施03 事301	クルーズ船誘致の推進(誘致推進課)	クルーズ船入港隻数【単年度管理型】	40隻	40隻	40隻	40隻	目標値をやや下回る	継続	拡大	拡大	・「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じて港ににぎわいを創出すべくクルーズ船誘致を進める必要があるため。 【重点化】
			34隻	39隻	35隻						
			115,009千円	67,398千円	46,268千円						
施03 事302	名古屋港のPR(広報・にぎわい振興担当)	船舶一般公開見学者数【単年度管理型】	7,700人	7,700人	7,700人	7,700人	目標値を上回る	継続	維持	維持	・事業効果もあがり、名古屋港への関心を高めるものとして、引き続き取り組む必要があるため。
			5,058人	8,317人	20,433人						
			128,902千円	137,558千円	153,377千円						
施03 事303	名古屋港景観基本計画の推進(環境担当)	景観審査におけるカラー計画との整合性率【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	目標値をやや下回る	継続	維持	維持	・名古屋港の良好な景観形成のため、引き続き取り組む必要があるため。
			86%	95%	94%						
			1,854千円	2,744千円	2,799千円						
施03 事304	名古屋港跳上橋整備事業(環境担当)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	100.0%			100%(累計)					
			100.0%								
			36,603千円			27年度完了					
		施策コスト(合計)	712,571千円	854,063千円	1,389,682千円						

3. CHECK(成果目標の状況・29年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年度				目標値 【30年度】	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
		27年度	28年度	29年度	30年度		
交流施設の来場者数	目標値	万人	649	650	830	830	・名古屋港水族館における「シャチ公開トレーニング」などの取組や、金城ふ頭におけるレゴランドの開業などにより交流施設への来場者数は増加しましたが、目標値は下回りました。
	実績	万人	658	599	803		
名古屋港に親しみや魅力を感じた割合	実績	%	95	96	96	毎年度・対前年度比増	・平成29年度のアンケート調査において、親しみやすさや魅力を感じた割合は、高い水準を維持していますが、前年度比増とする目標は達成できませんでした。

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)

適正・見直しが必要

(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)

4. ACTION(課題・30年度以降の取組方針)

29年度に取り組んだ内容	課題	30年度以降の取組方針
<p>展開①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中川運河緑地(堀止地区)については、水辺一帯の緑地整備として、東側約0.05haの通路舗装を予定していましたが、入札不調により通路舗装の整備に至りませんでした。</li> <li>・中川運河の水質改善については、既存建物の撤去に着手しました。また、予定していた排水管の切り替えが入札不調により排水管の整備に至りませんでした。</li> <li>・名古屋市と連携して、中川運河の水上交通の試験運航を開始しました。また、運河沿岸用地での新たな土地利用の展開等のための公募を実施し、事業者を決定しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市関連事業と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。</li> <li>・水質改善事業の推進にあたっては、関係者と調整する必要があります。</li> <li>・関係機関と連携を図りながら、引き続き水上交通の誘導や老朽化した護岸の改修を始めとする中川運河再生に向けた取組を推進する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度に予定していた通路舗装を確実に行うとともに、名古屋市関連事業と連携して、引き続き、親水緑地の整備を進めていきます。</li> <li>・平成29年度に予定していた排水管の切り替えを確実に行うとともに、水質改善事業については、引き続き、関係者と調整を行い、着実に事業を進めていきます。</li> <li>・中川運河再生推進会議の開催、水上交通試験運航の事業採算性などの検討、東支線の護岸改修及び水質改善に向けた課題と対応の検討に取り組んでいきます。</li> </ul>
<p>展開②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデンふ頭再開発基本計画検討委員会を開催するとともに、パブリックコメントを実施し、これらの意見を踏まえて、平成29年9月に「ガーデンふ頭再開発基本計画」を策定しました。また、基本計画に基づいて、10月から民間事業者のアイデアや意見を把握するマーケットサウンディングを実施しました。</li> <li>・名古屋港水族館は、クラゲの特別展、シャチ「アース」購入後に夏休みから開始したメインプールでの「シャチ公開トレーニング」、「ごまちゃんデッキ(ゴマアザラシ等)」などの新たな展示の実施や、ニュースリリース、ホームページ、フェイスブック等の多様な手法により効果的な情報提供に努めるとともに、繁殖研究に取り組まれました。また、大型映像表示装置の補修を完了するとともに「ウミガメ回遊水槽」の補修(平成30年度完了予定)に着手しました。</li> <li>・大規模イベントにおける交通対策等について、交流施設関係者や名古屋市と連携し、港湾関係者との調整を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発の推進に向けて、民間資金とノウハウを最大限にいかすことができるよう検討を進めていく必要があります。</li> <li>・名古屋港水族館は、更なる集客や施設の良好な維持管理を図るとともに、鯨類のプールの使用状況等を踏まえ、持続的かつ安定的な展示のための検討を行っていく必要があります。</li> <li>・金城ふ頭における交流拠点開発は、物流機能を阻害しないよう推進していく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者からの意見聴取や有識者からの助言も得ながら、開発条件の整理、公共インフラの計画、必要な規制緩和の検討を行うとともに、ガーデンふ頭に携わる関係者との調整を進めていきます。</li> <li>・名古屋港水族館は、更に魅力ある施設となるよう取り組むとともに、施設の良好な維持管理に努め、多様な展示・イベントの開催や積極的なPRの実施により、更なる集客に努めていきます。また、平成30年度は、鯨類のより良い繁殖環境のあり方検討調査に取り組んでいきます。</li> <li>・物流機能と共存した円滑な交流拠点開発の推進に向け、引き続き、交通対策等について関係者と調整を行っていきます。</li> </ul>
<p>展開③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係行政機関、団体、企業で構成する「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」での活動を中心に、国内外クルーズ船会社等への誘致活動を実施し、同会議においてクルーズ産業の動向や名古屋港の置かれている状況等を確認して課題を整理し、今後の対応について名古屋港クルーズ船誘致に向けた行動計画として取りまとめました。また、クルーズ船寄港時には、歓迎行事、観光案内等を実施するとともに、クルーズへの関心を高めるため、運航会社協力のもと船内見学会、クルーズ船の歓迎乗船を実施しました。さらに、クルーズ船受入能力の向上を図るため、ガーデンふ頭3号岸壁改良施設設計を実施しました。</li> <li>・平成29年度は名古屋港開港110周年を記念し、「砕氷艦しらせ」の寄港や練習帆船2隻同時寄港など特別な事業を実施するとともに、利用者がより多くの情報を受け取れるようホームページを改良しました。</li> <li>・事業者からの事前相談に対して、景観基本計画及びカラー計画に基づく良好な景観形成に向けた協力要請や、景観アドバイザー制度の活用を促しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船の寄港誘致への取組は、港湾管理者のみならず、関係機関との協力・連携が必要です。また、地域のクルーズ需要掘り起こしは、継続的な寄港につながるため、クルーズ船運航会社の協力を得て実施していく必要があります。また、インターポーティングによる寄港が金城ふ頭においても始まることから、多数の乗船客及び下船者が見込まれており、関係機関等と連携したスムーズな対応が求められています。</li> <li>・発信する情報が利用者にとって、より分かりやすい情報となるよう工夫を重ねる必要があります。</li> <li>・事業者の建築物においても、計画と整合のとれた景観を形成する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じて関係機関との連携を強化しつつ、引き続き、県民市民のクルーズ船への親しみを深め、関心を高めるとともに、港のにぎわいを創出すべく、行動計画に基づきクルーズ船誘致に取り組めます。</li> <li>・常に利用者ニーズが何かの研究を重ねることで、ニーズに即したPRの手法を検討していきます。</li> <li>・事業者に対しても、引き続き計画の趣旨について理解を求め、良好な景観形成を推進していきます。</li> </ul>